

第26回 エイズ・デー
世界 AIDS・DAY 礼拝

Web 開催



「カトリック HIV/AIDS デスク」ロゴ

2020年12月1日（火） 午後6時

場所：日本聖公会東京教区
神田キリスト教会

メッセージ： 井上洋士（HIV Futures Japan プロジェクト 代表）

日本聖公会東京教区人権委員会
カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク
宗教と LGBT ネットワーク
ルーテル HIV/AIDS プロジェクト

共催

〈前奏〉

〈人権の日の祈り〉

一同：

生きる力を与えてくださる神さま、イエスはその生き方においてすべての人の尊厳を尊ばれました。

今、わたしたちは、人権の日を憶え祈ります。

どうかわたしたちがみ言葉に聴きつつ、お互いの声を聴きあい、差別のない社会をつくることができますように。

誰もが、尊いひとりの人間として大切にされるような世界をつくるために、わたしたちを平和の器として用いてください。

主イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。

アーメン

〈招きの詞〉

司式者：

世界エイズデー礼拝に集まった皆さん、毎年12月1日は世界エイズデーとして守られています。今年は特殊な状況下で、共に集まり礼拝

を守ることができません。しかし、このようにしてオンラインで共に祈りを合わせることができますことに感謝します。私たちはこの時、

エイズそしてそれに伴う病ですでに天に召された方がた、また今なお、HIVそしてエイズと共に生きておられる方がたを心に刻みます。

さらにこの1年間これらの問題で成し遂げられた前進に感謝しつつ、なお、前途にある課題をも憶えます。私たちは世界中の人々と力を合

わせて、エイズを撲滅して行けるように、また、HIV そしてエイズと共に生きる人々への支援を続けていけるように努力することを、この礼拝で表明します。今、私たちは心を新たにして、誰一人として置き去りにしないことを決心するものです。特に今年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を奮い、孤独や孤立を強いられ、苦しむ人たちが増えています。そのような中で、この決心のうちに共に、そして堅く立つことができますようにと祈ります。

〈間奏〉

〈聖書〉

司式者 聖書の言葉を聞きましょう

旧約聖書 エレミヤ書 29 章 11 節

私は、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

新約聖書 マタイによる福音書 11 章 28 節

疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のもとに来なさい。
休ませてあげよう。

〈メッセージ〉

井上洋士さん（HIV Futures Japan プロジェクト代表）

〈共同の祈り〉

司式者 祈りましょう

祈り①：憐れみの神よ、HIV そしてエイズに生きる人々を慰めてください。憐れみと愛、そして平和の覆いをかけてください。HIV そしてエイズに生きる人々の顔に映るあなたを見るために私たちの目を開いてください。そして彼ら彼女らの心に響くあなたの真実を聴くために私たちの耳を開いてください。深い悲しみに悩みながら、孤独と弱さにあって生きることができるようにも力をお与えください。

一同：恵み深き神よ、私たちの祈りをお聴きください。

祈り②：愛の神よ、恐れとストレスにあって悩む人々に、あなたの愛を指し示すことができますように。慰めであり、慈しみの神よ、すでに天に召された人々に安らぎを、HIV そしてエイズに生きる人々に希望をお与えください。新しい治療法が見出されますように。また、孤独死することなく、だれもが受容され、望まれ、愛されて生きることができる世界でありますように。

一同：恵み深き神よ、私たちの祈りをお聴きください。

祈り③：希望の神よ、私たちは HIV そしてエイズと共にあります。
希望が到来するとき、み子がこの世に来られることを待ち望みます。
希望のしるしに感謝します。

理解がなされることを

医療の進歩を

私たちの意識の変化を

あなたの体である教会の中で、気づきと思いが、より増し加えられま
すように。

一同：恵み深き神よ、私たちの祈りをお聴きください。

祈り④：唯一の神よ、

あなたの強い愛によって、私たちを互いに結び合わせてください。

すべての教会が、だれでも受容される場所になれますように。

私たちの教会が HIV そしてエイズの人びとを迎え入れることができ
ますように。さまざまな配慮に満ち、すべてを受容する場へと変えて
ください。

特に、子どもたちや青年期に患う人々の人生の物語が受け入れられ
ますように。愛が恐れを圧倒しますように。あなたが見出されますよ
うに。

一同：恵み深き神よ、私たちの祈りをお聴きください。

祈り⑤：平和の神よ、HIVと共に生きる多くの人々が、今なお治療を受けることから遠ざけられています。特に多くの医療を受けることができない子どもたちを憶えて祈ります。また感染に気づいていない人々もおられます。どうかこれらの人びとの必要を満たしてください。

一同：恵み深き神よ、私たちの祈りをお聴きください

祈り⑥：まことの神よ、私たちはすべての人々が成長するにあたり等しい機会を与えられ、能力を発揮できる場、豊かな社会に向けて働き、楽しむことができますように祈ります。そのような社会の実現に向けて、法整備がなされ、政策と計画を実行して、人間としての権利を尊び、健やかで良い生活をつくり出すことができますように。

一同：恵み深き神よ、私たちの祈りをお聴きください

祈り⑦：癒し慰める神よ、あなたは国や社会、家庭や個人の間での破れを見つけ、直し、再び結び合わせてくださいます。新型コロナウイルス感染症の影響下で、分断されている社会はさらに破れ、孤独や孤立を強いられている人たちがいます。どうぞその苦しみに耳を傾け、癒しを与えてください。たとえ誰からも見捨てられたとしか思えないようなときであっても、あなたは私たち一人ひとりと共にいてくださいます。どうぞそのことを忘れずに、また互いに伝え合い、証し合うことができるように助けてください。

一同：恵み深き神よ、私たちの祈りをお聴きください

祈り⑧:いのちの神よ、病める人も、健やかな人もすべての人々が、それぞれの人生を完全に生きられる世界に向けて働くことができますように。生まれてからおとなになり、そして高齢になるまで差別を受けず、尊厳と平等の中で生きていかれますように。

一同：恵み深き神よ、私たちの祈りをお聴きください

祈り⑨:希望の神よ、

エイズの終わりは見えてきました。

走り切る力をお与えください。

祈りと行いであなたに信頼します。

すべての人々が知識と知育を得ることができるその日、

経済的な力と良質な治療を必要とするその日、

心配りとサポートが確かに与えられるその日、

行動へのためらいとあきらめから解放されますように、

あなたが私たちに驚きを与えるように、私たちもあなたを驚かせられますように

一同：恵み深き主よ、私たちの祈りをお聴きください。

〈間奏〉

〈祝福と派遣〉

司式者：

神よ、あなたが遣わしたいと思うところに 私たちを遣わしてください。あなたが会わせたいと思う人々に会わせてください。

あなたが語りたいことを私たちの口を通して語らせてください。

私たちがあなたの道を邪魔しませんように。

(マイカル・ジャッジ神父の祈り)

私たちの言葉と行いによって、新たな HIV 感染者とエイズに関連した死者が無くなりますように。さらに HIV そしてエイズと共に生きる人びとへの偏見と差別が無くなりますように。今も、これからも共に力を合わせていくことができますように。

一同：アーメン

マイカル・ジャッジ (1933-2001.9.11)

アメリカ・ニューヨーク生まれのカトリック司祭、フランシスコ会員。

ニューヨーク消防局チャプレン (公共空間において心のケアに当たる宗教者) としてめざましい活動をし、エイズ患者、LGBT の人びと、航空機事故や災害で愛する者を亡くした家族などに寄り添い続けた。2001 年のアメリカ同時多発テロ事件のさなか、世界貿易センタービルでの職務中に殉職し、事件における最初の死者として認定されている。

〈後奏〉